

MITSUBISHI

三菱 **高圧力型** 電気温水器
(小型温水ポイラー)

ダイヤホット **ダイヤホット**

- 「時間帯別電灯」対応通電制御型
- 深夜電力通電制御型（8時間）

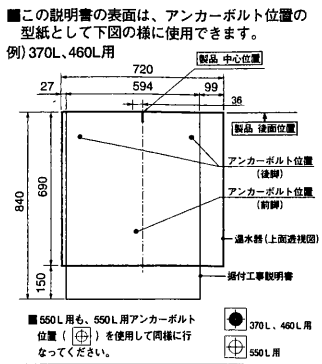
形名
SRT-3765FU200V-BL、SRT-4665FU200V-BL、
SRT-5565FU200V-BL

据付工事説明書 販売店・工事店さま用

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前にこの「据付工事説明書」を必ずお読みください。
- 事務所、店舗などのご使用は、労働安全衛生法の規程があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問い合わせください。（同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください。）



高圧力型 電気温水器



1. 据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- 工事後は、取扱説明書、工事確認書、明細書とともに、お使いになるお客さまにお渡し、保管していただくよう依頼してください。
- この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正別売部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
- この製品はポンプを内蔵しているので、ポンプ運転中は運転音【40dB (A) 以下】がします。音が気になる場所には据付けないでください。
- この製品はリモコンを接続しないと動作しません。必ずリモコン（台所、浴室）を接続して使用してください。

【お願い】

- 工事作業中は手袋を着用してください。金属端面によるけがや高温部接触によるやけどなどを防止します。
- 運搬するときは本体上部のつとめを持ってください。また、高層住宅などへのつり上げ運搬は、つり上げ台を使用してください。
- 屋外で開梱した場合、強風によって製品が転倒することがあります。風が当たらない安定した場所に仮置きしてください。（正面を上にして横置きしてください。）
- 製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
- 上水道直結の配管工事は、必ず当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- 電気工事は、電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工業者が行なってください。
- メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。（前方 600mm以上、上方 200mm以上）
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水をご使用ください。
- 使用する浴槽の大きさの目安は、220L～350Lです。
- 本体1台に対して接続できる浴槽は1台です。
- 降雨中は前面カバーを開けないでください。
- 本体の複数接続はできません。
- 本体と太陽熱温水器との接続はできません。
- 本体内蔵減圧弁からの2次給水はできません。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		アース線接続		指示に従い行う
--	----	--	--------	--	---------

警告	
	必ずアース工事をする 工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。
	ガス類や引火物の近くには据付けない 発火・火災になることがあります。
	漏電遮断器の動作を確認する 故障のまま使用すると、感電することがあります。

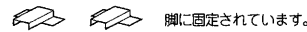
注意	
	凍結防止対策を行う 凍結すると、本体が破損したり配管が破裂してやけどをすることがあります。
	床面の防水・排水処理工事をする 大きな被害につながる可能性があります。
	脚をアンカーボルトで固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。
	2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。
	水道水を使用する 水道水を使用しないと故障の原因になります。

この据付工事説明書は再生紙を使用しました。

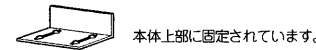
2. 同梱付属品

次の部品が付属されています。

- ①脚固定金具 <2個>



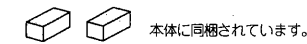
- ②上部振れ止め金具 <1個>



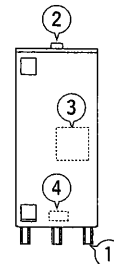
- ③ホースセット <1セット>



- ④パテセット <1セット>



同梱場所



3. 純正別売部品

据付工事には、品質と耐久性を考え、三菱純正別売部品をお使いください。

必要な部品

No.	部品名	個数	形名
1	台所リモコン	1	RMC-5FUK
	浴室リモコン	1	RMC-5FUB
2 (選択)	浴槽アダプター (直管おねじ)	1	GT-A76
	浴槽アダプター (直角おねじ)		GT-A78
3 (選択)	リモコンケーブル (2芯 20m)	1*	LM-620
	リモコンケーブル (2芯 50m)		LM-650
4	絶縁パイプ (20A 1m) 給湯用	1	GT-60B
5	絶縁パイプ (20A 0.5m) 給水用	1	GT-61B
6	絶縁パイプ (15A 0.5m) ふろ用	2	GT-62B
7	アース棒	1	GT-30B

●リモコンケーブルは、設置状況に合わせて選んでください。
※リモコンケーブルは台所リモコン、浴室リモコン、各1本ずつ必要です。

条件により準備する部品

No.	部品名	個数	形名
8	脚部カバー (SRT-3765FU200V-BL、SRT-4665FU200V-BL)用	1	GT-C460F
9	脚部カバー (SRT-5565FU200V-BL)用	1	GT-C550F

仕様確認のうえ現地調達可能部品

No.	部品名	個数	形名
10	アンカーボルトM12 (30本入)	-	GZ-B1
11	アンカーボルトM10 (50本入)	-	GZ-B2

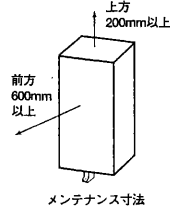
製品 中心位置

製品 後面位置

4.据付工事

据付場所の選定

- 湿水器と建物とのすき間寸法は各都市の火災予防条例に従ってください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けないでください。
- 積雪地区に据付ける場合には、雪を防ぐために小屋げをしてください。
- 浴室など湿気の多いところには据付けないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
- 室内（機械室など）に据付ける場合は通気口を設け、密閉室にしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。



東京消防庁設置基準適合

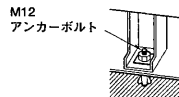
この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」(平成6年11月18日改正社団法人日本電機工業会)設置基準適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも0mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。

警告

ガス類や引火物の近くには据付けない
発火・火災になることがあります。

脚固定方法

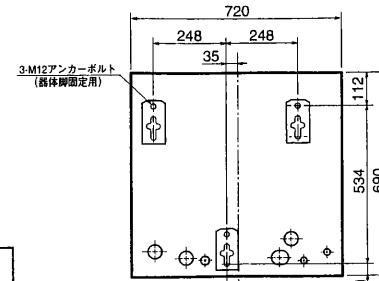
- 脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。3箇所必ず固定してください。



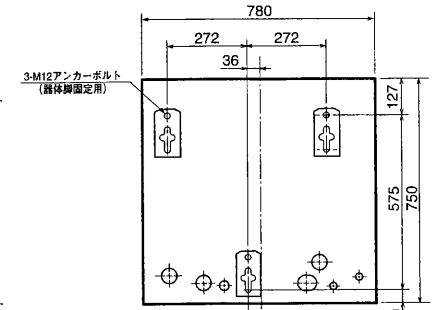
アンカーボルト固定後

注意

脚をアンカーボルトで固定する
固定しないと地震のとき、
本体が倒れてけがをすることがあります。



アンカーボルト位置 (上面透視図)
[SRT-3765FU200V-BL, SRT-4665FU200V-BL]



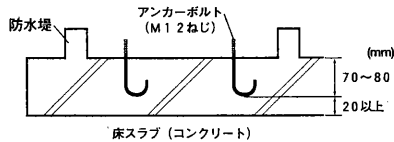
アンカーボルト位置 (上面透視図)
[SRT-5565FU200V-BL]

床面工事

- 満水時の質量 (550Lで約652kg、460Lで約556kg、370Lで約454kg) に十分耐える基礎工事をしてください。(370L、460Lは寸法800×800mm以上、550Lは寸法900×900mm以上)
- 屋内設置の場合は床面の防水、防水堤および排水処理工事を行なってください。

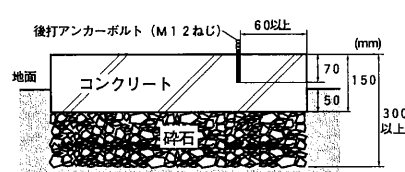
基礎工事

埋込みアンカーの場合 (屋内の場合)

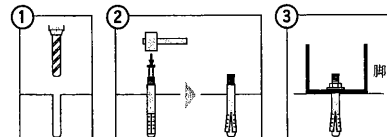


コンクリートの圧縮強度…18MPa (180kgf/cm²) 以上
アンカーボルト引き抜き力…9800N (1000kgf) 以上

後打ちアンカーの場合 (屋外の場合)



後打ちアンカーボルトの施工例



① ドリル等で予め穴をあけておきます。
② アンカーボルトを入れ、ハンマー等でピンを打ち込みます。(アンカーボルトは潤滑剤を塗ります。)
③ ナットワッシャーをはめ、脚を固定します。



370、460L用
アンカーボルト位置



550L用
アンカーボルト位置

- 【お願い】・買換え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
・後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト
寸法 (mm)

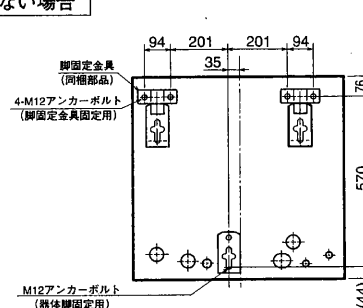
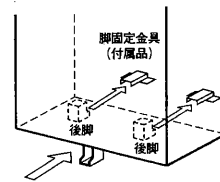
直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

注意

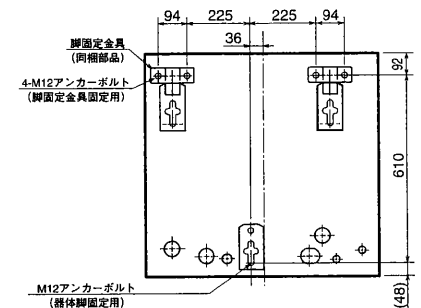
床面の防水・排水処理工事をする
処理工事しないと水漏れが起きたとき、
大きな被害につながる可能性があります。

後脚がアンカーボルトで固定できない場合

- ① 付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで下図の位置に固定します。
- ② 本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
- ③ 前脚をアンカーボルトで固定します。



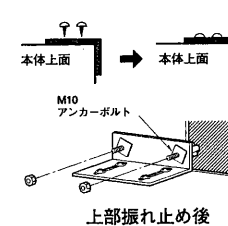
脚固定金具使用時 (上面透視図)
[SRT-3765FU200V-BL, SRT-4665FU200V-BL]



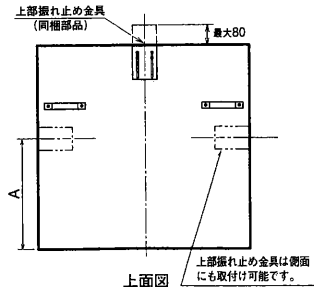
脚固定金具使用時 (上面透視図)
[SRT-5565FU200V-BL]

上部振れ止め工事

- ① 本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。
- ② 上部振れ止め金具を壁に固定します。



上部振れ止め後



上面図
上部振れ止め金具は側面にも取付け可能です。

注意

2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

- 【お願い】・引張荷重が4900N (500kgf) 以上に耐える壁、または棧を設けてください。

- ・アンカーボルトは引き抜き力が2450N (250kgf) 以上になる施工をしてください。
- ・後打ちアンカーボルトの場合は右表のものをご使用ください。
- ・上部振れ止め金具を側面に取付ける場合、使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。(シールは上部振れ止め金具に付いています。)

寸法 (mm)	SRT-3765FU200V-BL SRT-4665FU200V-BL	SRT-5565FU200V-BL
A	374	434

品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト 寸法 (mm)

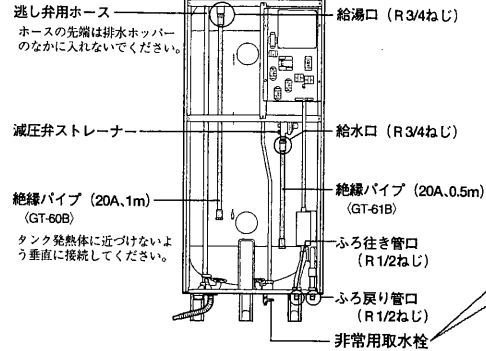
直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

5. 配管工事

- 上水道に直結する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工業者が、指定された配管材料を使って施工します。
 - 水は、必ず水道法に定められた飲料水の品質基準に適合した水道水を使用します。
 - ・塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用はさけてください。
 - ・井戸水などは水質によって故障の原因となりますので、ご使用はしないでください。
 - 水源水圧は196kPa (2.0kgf/cm²)以上、必要です。
 - 温水器回りの配管部は、保守、点検がしやすいように取付けます。
 - 水栓は逆止弁付湯水混合栓を使用してください。使用する蛇口によっては、出湯量が少ない場合があります。浴室ではやけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓を使用してください。
 - ・サーモスタット付湯水混合栓を使用する場合、構造により出湯量が極端に少ない場合があります。ご使用になるときは、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して選定してください。(手元ストップシャワー、マッサージシャワー等のシャワーヘッドでは出湯量が少なくなります。)
 - 逃し弁、減圧弁、空気抜き弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合は、三菱純正部品をご使用ください。
 - ドレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万が一の水漏れ被害を防ぎます。
- 【お願い】**
- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器ケースに飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
 - 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
 - 配管接合部のソール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。
 - 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。また、キズやバリが無いように面取りを行なってください。(通水後は各水栓、減圧弁などのストレーナーにゴミがたまってないか点検してください。)
 - 耐熱塩ビ管 (HT管など) を接着接続した場合は、接着剤が減圧弁ストレーナー等へ付着しないよう硬化後に通水してください。

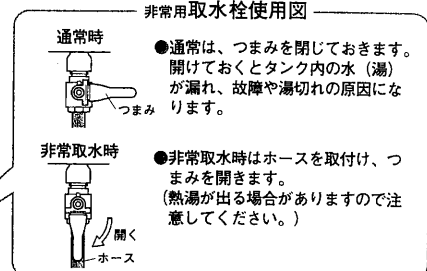
注意
水道水を使用する
水道水を使用しないと
故障の原因になります。

本体内配管工事



ゴムフッシュ
ゴムフッシュは本体と配管の絶縁をします。外さないでください。

万一、タンク等から漏水した時、大きな被害につながる恐れがありますので本体と配管のすきまを同梱のパテでシールしてください。シール方法は、付属の工事説明書をお読みください。

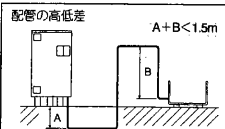


工事をされる方へ: お客さまへ使用方法を具体的に説明してください。

本体配管、ふろ配管工事

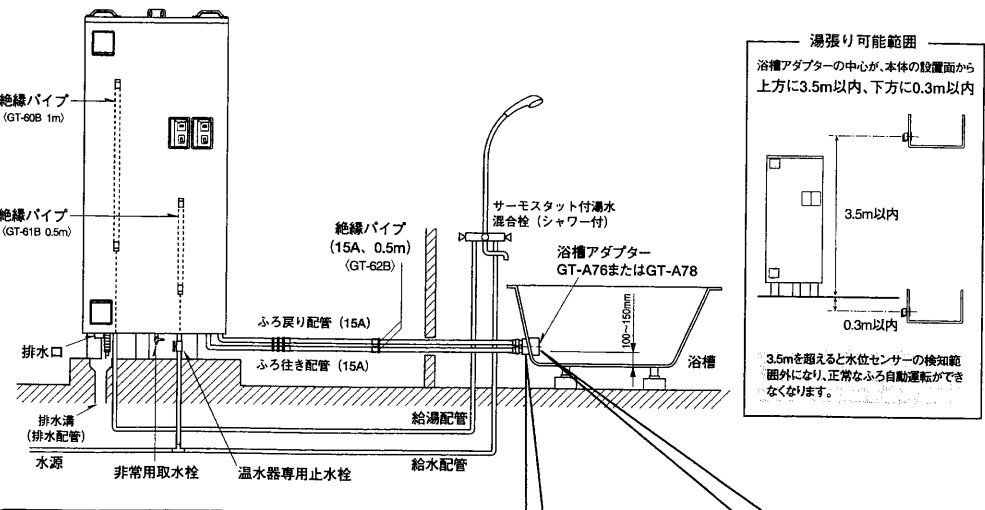
〈温水器専用止水栓〉 ● 水漏れや故障のときなど水源を止めるために必要です。必ず温水器専用にしてください。

使用する配管材	絶縁パイプ	施工上の注意事項
給水配管 耐熱・耐食性を有するもの (銅管など)	GT-61B (20A, 0.5m)	● タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を取付けてください。
給湯配管 耐熱・耐食性を有するもの (銅管など)	GT-60B (20A, 1m)	● 給湯配管は、2.0A (3/4) の配管を使用します。 ● 階下給湯はできません。
ふろ配管 耐熱・耐食性、絶縁を有するもの (銅管・耐熱樹脂管・HT管など)	GT-62B (15A, 0.5m)	● ふろ配管は、1.5A (1/2) の配管を使用します。途中で絶縁パイプ (GT-62B) を取付けてください。 ● φ12.7ベアチューブの場合は、耐熱樹脂管を使用します。 ● ふろ行き配管と戻り配管で、曲げ回数や長さなどが同一条件となるように配管してください。(水圧に差が生じると動作不良の原因になります。) ● 配管長さは片道15m10曲りまでです。(φ12.7ベアチューブの場合は、浴槽設置1階の条件で6m5曲りまでです。) ● 階下へのふろ配管はできません。 ● 配管の高差はトータル1.5m以内にしてください。鳥居配管は1カ所までです。(右図) ● フレキ配管は、できるだけさけてください。 ● 浴槽アダプターは設置条件に合わせて、専用の純正別売部品を使用してください。
排水配管 耐熱性を有するもの (HT管など) 排水時に高温 (最高約90℃) のお湯が排水される場合があります。	—	● 排水管は、内径50mm以上、配管勾配1/50以上にします。 ● 湯張り時や沸き上げ中に本体下部の排水口より少量の水が出ますので、必ず排水工事を行ってください。

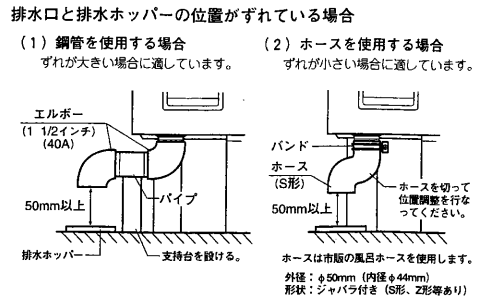
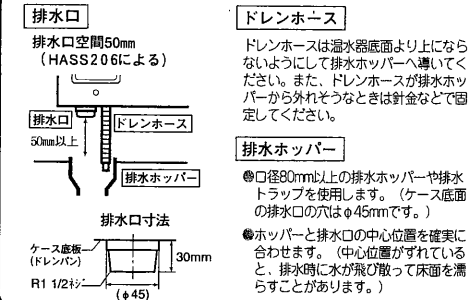


標準配管例

給水配管・給湯配管及び、ふろ配管は現地で準備してください。

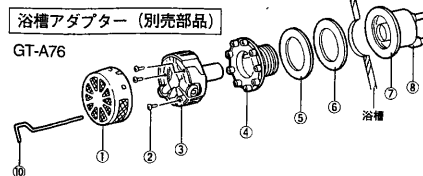


排水口付近拡大図



浴槽アダプター取付け工事

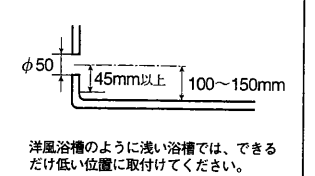
- 浴槽アダプターは、設置条件に合わせて専用別売部品 (GT-A76またはGT-A78) を使用してください。
- 取付け方法については、浴槽アダプターの工事説明書をお読みください。
- 浴槽内厚20mmまで取付け可能です。
- フィルターガイドの「上」印が上方になるように取付けてください。
- 取付けには別売の専用締付工具 (当社製 GT-75K) をご使用ください。



No.	部品名	数量
①	フィルター	1
②	タッピングねじ	3
③	フィルターガイド	1
④	浴槽フランジ	1
⑤	すべらし板 (半透明)	1
⑥	パッキン (黒)	1
⑦	かふせパッキン	1
⑧	浴槽壁金具	1
⑨	接続管	1
⑩	一人施工用フック棒	1

浴槽穴あけ工事

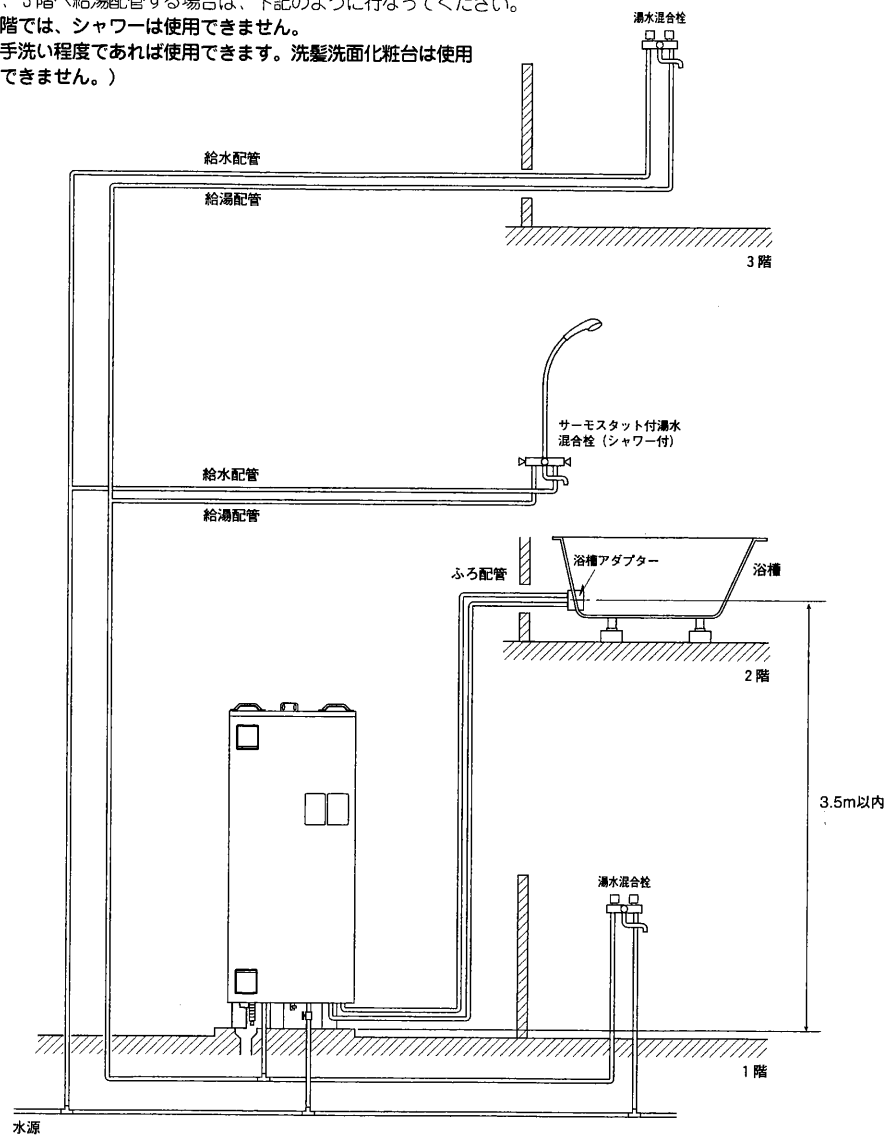
- 浴槽穴は、底面から100~150mmの位置にあけてください。
- 浴槽穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45mm以上です。





特殊配管例

- 2、3階へ給湯配管する場合は、下記のように行なってください。
- 3階では、シャワーは使用できません。
(手洗い程度であれば使用できます。洗髪洗面化粧台は使用できません。)



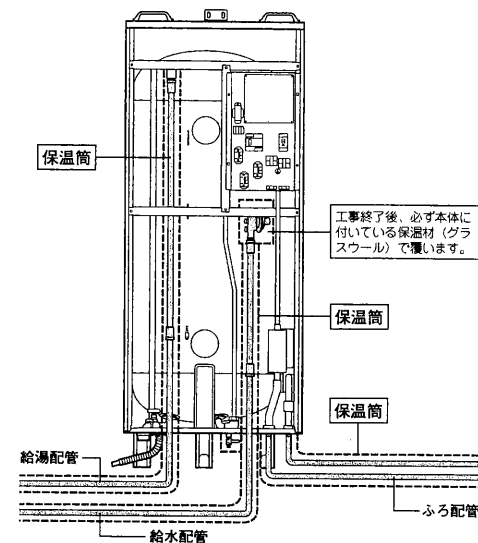
階下給湯

- 階下への給湯はできません。

高圧力型電気温水器では水高計の取付が法律で義務づけられており、階下給湯を行うとタンク内圧力の低下を検知して、リモコンに「F7」エラーを表示し、わき上げを行わなくなります。

保温工事

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。
- 給湯、給水、ふろ配管は、必ず保温工事を行なってください。



凍結防止工事

- 保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

【お願い】 凍結防止対策の方法とその操作方法をお客さまに十分に説明してください。

△注意

凍結防止対策を行う
凍結すると、本体が破損したり、配管が破裂してやけどをすることがあります。

凍結防止ヒーターによる方法

- ① 凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。(本体内部の配管については保温材による凍結防止を行なってください。)
- ② 凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③ 凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。

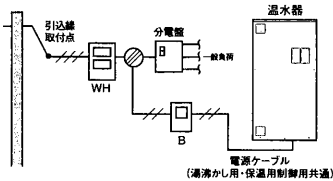
6.電気工事

- 電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。
- 深夜電力で使用する場合は、保温用制御用電源として昼間電力の配線工事が必要です。
- 「時間別電灯で使用する場合②」（下図）の引込み配線を行うときは、保温用制御用電源として配線工事が必要です。
- 試運転は必ずタンクを満水にしてから行ってください。

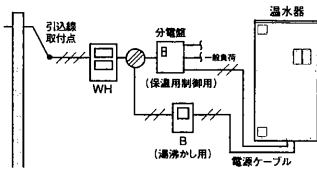
引込配線工事

引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。

時間別電灯で使用する場合①



時間別電灯で使用する場合②



【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

【お知らせ】 電気温水器用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。

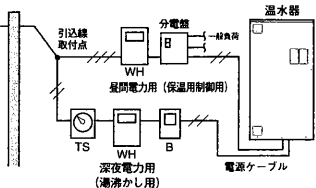
ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類（時間別電灯で使用する場合①）

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3765FU200V-BL	単相200V	5.6kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
SRT-4665FU200V-BL	単相200V	6.6kW	50A	14mm ²	VV
SRT-5565FU200V-BL	単相200V	7.6kW	60A	14mm ²	VV

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類（時間別電灯で使用する場合②）

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3765FU200V-BL	単相200V (湯沸かし用)	4.4kW	30A	5.5mm ² (φ2.6mm)	VV
	単相200V (保温用制御用)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV
SRT-4665FU200V-BL	単相200V (湯沸かし用)	5.4kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
	単相200V (保温用制御用)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV
SRT-5565FU200V-BL	単相200V (湯沸かし用)	6.4kW	50A	14mm ²	VV
	単相200V (保温用制御用)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV

深夜電力で使用する場合



ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3765FU200V-BL	単相200V (深夜電力)	4.4kW	30A	5.5mm ² (φ2.6mm)	VV
	単相200V (昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV
SRT-4665FU200V-BL	単相200V (深夜電力)	5.4kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
	単相200V (昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV
SRT-5565FU200V-BL	単相200V (深夜電力)	6.4kW	50A	14mm ²	VV
	単相200V (昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV

【お知らせ】 深夜電力で使用する場合は、上部（150L）わき増し、満タンわき増しはできません。

本体内部配線工事

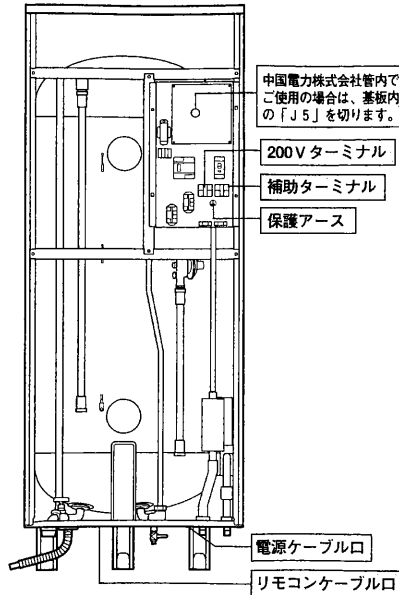
以下の配線工事を行なってください。

- 電源工事 ・ 保護アース（接地）工事 ・ リモコン工事（6ページ）
- 各配線に使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。
- 前面カバーは右図を参照して開けてください。

1. 電源工事

この温水器は時間別電灯で使用できるように内部配線されています。

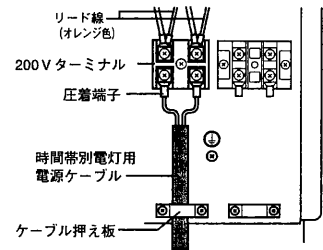
この温水器は「時間別電灯で使用する場合②」や「深夜電力で使用する場合」の引込み配線を行うときは、内部配線の変更が必要です。



時間別電灯で使用する場合①

- ①時間別電灯用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ②ケーブル押え板で時間別電灯用電源ケーブルを固定します。

- ・締付トルク3.2N・m (33kgf・cm) 以上
- ・線間絶縁距離6mm以上

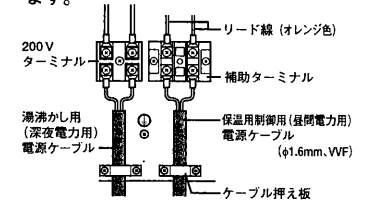


【お願い】 ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

時間別電灯で使用する場合②

深夜電力で使用する場合

- ①200Vターミナルに接続してあるリード線（オレンジ色）を外し、補助ターミナルに接続します。
- ②保温用制御用（昼間電力用）の電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、補助ターミナルに接続します。
- ③湯沸かし用（深夜電力用）電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ④ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。



【お願い】 200Vターミナルに付属している圧着端子を1サイズ小さいものに変更してください。

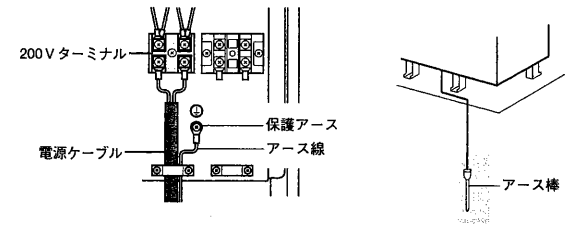
2. 保護アース（接地）工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士によるD種（第3種）接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行なってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。

- ①アース棒（純正別売部品）と市販のアース線（IV電線3.5mm² 緑色）を半田付けまたは接続端子で接続します。
- ②アース線を電源ケーブル口から通し、200Vターミナル右下の保護アース（⊕マーク）に接続します。
- ③アース棒を湿気のあるところで地中30cm以上の深さに打ち込みます。

警告

必ずアース工事をする
工事に不備があると、
故障や漏電のとき感電することがあります。



3. 台所リモコン工事

リモコンケーブルは、三菱純正別売部品（形名：LM-620またはLM-650）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。

台所リモコン付属品

部品名	数量	部品名	数量
木ねじ	2	Mねじ	2
オールプラグ	2	Y型端子	2
操作説明ラベル	1		

- 【お願い】・リモコン本体を分解しないでください。
・操作説明ラベルを台所リモコンの近傍に貼り付けてください。

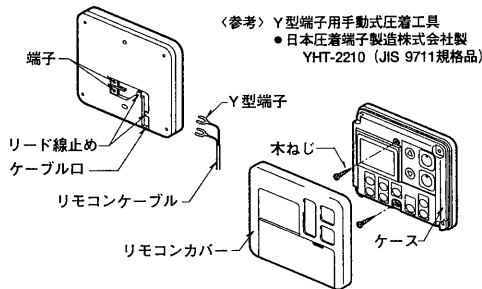
取付け場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内に取付けてください。
- 【お願い】 台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取付けないでください。
 - ・浴室など湿気の多いところ
 - ・ガステーブルなどの高温（50℃以上）になるところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・蒸気や水しぶきのかかるところ
- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所に取付けてください。
- 台所リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側）に取付けてください。



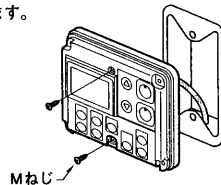
壁面に取付ける場合（ケーブル露出配線）

- ①マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
- ②下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。
- ③リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めにする。
- ④リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。
壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2箇所）をあけてオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
- ⑤リモコンカバーをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して温水器まで配線する。



リモコンケーブルを壁中を通す場合（ケーブル埋込配線）

- ・リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス（1個用）を取付けておきます。
 - ・リモコンケーブルを電線管を通し、温水器まで配線しておきます。
- ①マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
 - ②埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。
 - ③リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。
 - ④リモコンカバーをケースにはめる。

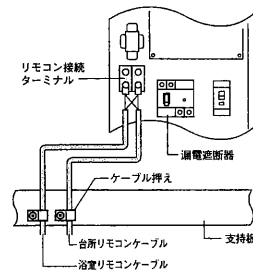


リモコンケーブルと温水器の接続工事

- ・台所リモコン、浴室リモコンはどちらも無極性です。
- ①リモコンケーブル口からリモコンケーブルを通し、リモコン接続ターミナルに各リモコンケーブルを共に接続する。
- ②ケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。

- 【お願い】・リモコンケーブルどうしの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
・リモコンケーブルは電源ケーブルと離して（約5cm）配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
・リモコンケーブルを温水器のリモコン接続ターミナルに接続するときは、200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。

【お知らせ】・リモコン接続ターミナル左側の板金にリモコンケーブルを通す貫通穴がありますのでご利用ください。



4. 浴室リモコン工事

リモコンケーブルは、三菱純正別売部品（形名：LM-620またはLM-650）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。

浴室リモコン付属品

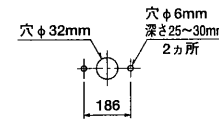
部品名	数量	部品名	数量
木ねじ	4	バックキン※	1
オールプラグ	2	取付パイプ（太）	1
カバー（バックキン付）	1	取付パイプ（細）	1
操作説明ラベル	1		

※バック金は、リモコンに付いています。
※バック金は、仮取付けできるように両面テープになっています。

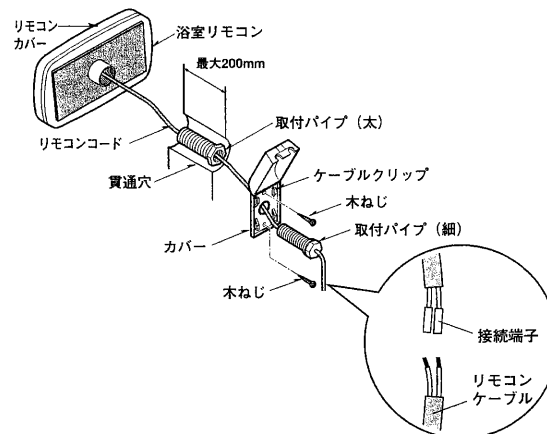
- 【お願い】・リモコン本体を分解しないでください。
・操作説明ラベルを浴室リモコンの近傍に貼り付けてください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合（壁貫通）

- ・壁厚200mmまで取付け可能です。
- ・壁に貫通穴（φ32~35mm）、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2カ所）をあけ、オールプラグを打ち込みます。



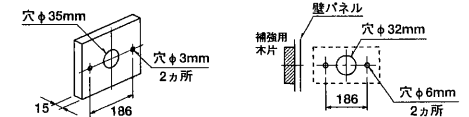
- ①マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- ②取付パイプ（太）を壁の厚さに合わせてカットし、リモコンコードを通してリモコンにねじ込む。
- ③木ねじでリモコンを壁に固定して、リモコンコードをカバー、取付パイプ（細）を通して、取付パイプ（細）をねじ込み、カバーを木ねじ2本で止める。
- ④リモコンケーブルの芯線を2つ折りして、リモコンコード接続端子に圧着する。
- ⑤接続部がカバーの内側になるようにケーブルクリップにリモコンケーブルを巻付けてカバーのふたをする。
- ⑥リモコンカバーを取付ける。



【参考】接続端子用圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216

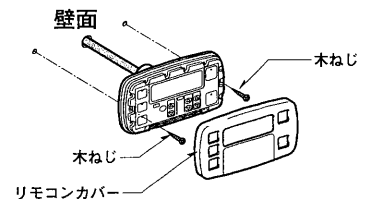
ユニットバスに取付ける場合（壁内配線）

- ・取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
- ・室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
- ・壁にリモコンコード用穴（φ32mm）と、リモコン取付け用穴（φ6mm）をあけます。
- ・壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。（木片にリモコンコード用穴（φ35mm）とリモコン取付け用穴（φ3mm、2カ所）をあけます。）
- ・補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
- ・木片は現地で用意してください。

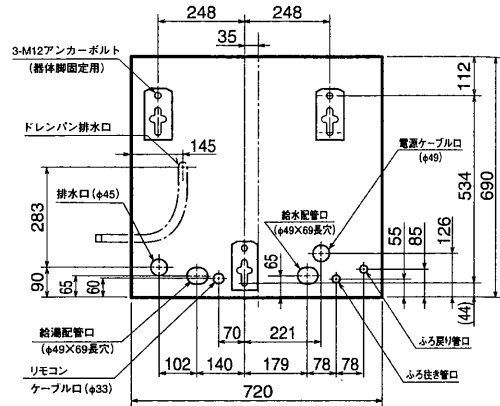
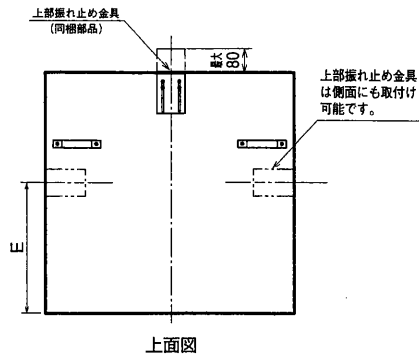


補強用木片参考寸法図

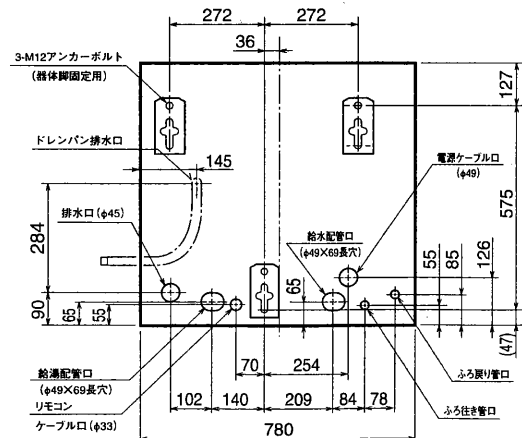
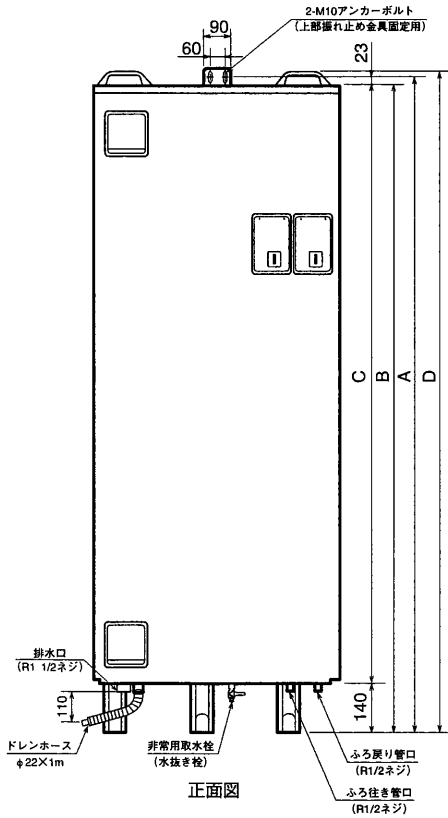
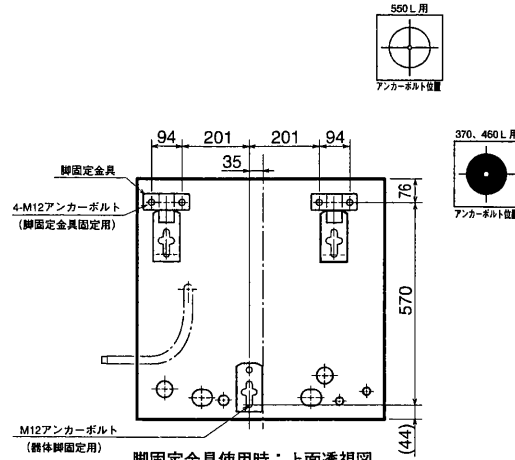
- ①マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- ②リモコンケーブルの芯線を2つ折りして、リモコンコード接続端子に圧着し、必ず、木ねじ2本でリモコンを固定する。
- ③リモコンカバーを取付ける。



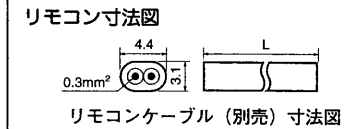
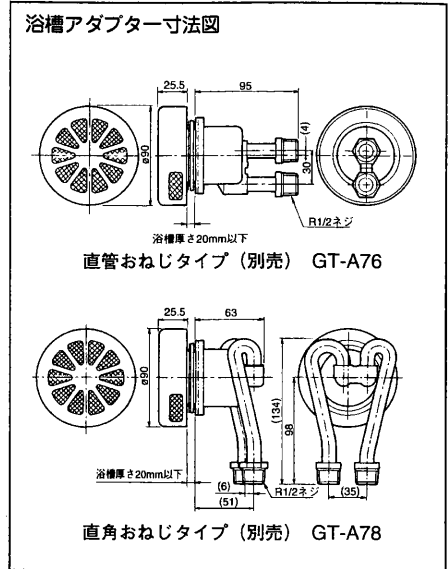
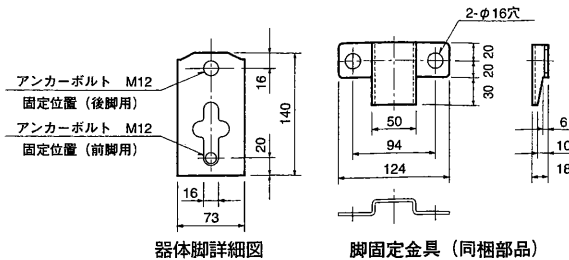
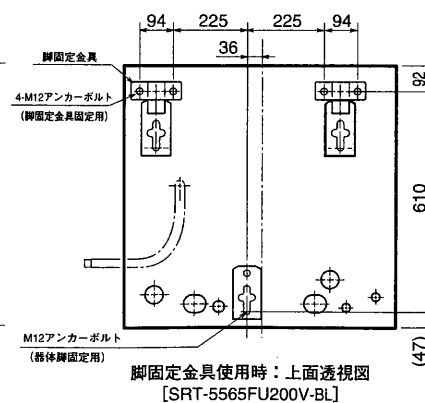
7.外形寸法図



配管、アンカーボルト位置：上面透視図
【SRT-3765FU200V-BL, SRT-4665FU200V-BL】

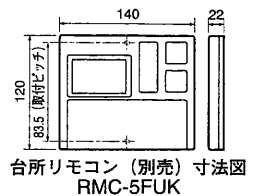
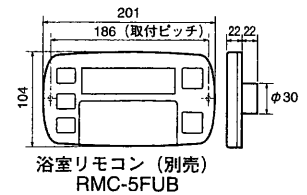


配管、アンカーボルト位置：上面透視図
【SRT-5565FU200V-BL】



形名	LM-620	LM-650
L(m)	20	50

VCT-FK 0.3 (相当品)



形名	SRT-3765FU200V-BL	SRT-4665FU200V-BL	SRT-5565FU200V-BL
タンク容量 (L)	370	460	550
定格消費電力 (kW)	5.6	6.6	7.6
質量 (kg)	本体	84	96
	満水時	454	556
寸法 (mm)	A	1,873	2,213
	B	1,850	2,190
	C	1,710	2,050
	D	1,885	2,225
	E	374	374

8.チェックリスト

据付工事後は、必ずお客さま立ち合いのもとで下表にあげたチェック項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりが安全性が確保できません。)

(○印の付いているチェック項目は、同封の工事確認書で確認してください。)

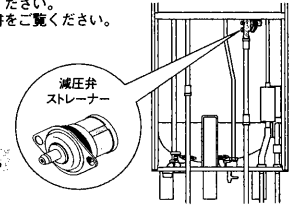
	チェック項目	ページ	工事確認書 確認項目	判定
据付け状態	①脚が固定(アンカーボルト及び脚固定金具)されていますか。(3カ所)	2	○	
	②満水時の重量(550Lで約652kg、460Lで約556kg、370Lで約454kg)に十分耐えますか。	2	○	
	③メンテナンススペースが確保されていますか。(本体は出し入れできますか。修理・点検はしやすいですか。)	2		
	④火気・引火物は近くにありませんか。	2		
	⑤排水・防水処理はしてありますか。	2	○	
	⑥上部を固定しましたか。(2階以上に据付けた場合)	2	○	
	⑦ケースに傷、変形はないですか。	1		
配管工事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか。	3	○	
	②排水ホッパーはついてますか。	3	○	
	③排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか。	3	○	
	④排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか。	3	○	
	⑤給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。	3	○	
	⑥給湯配管に絶縁を考慮した配管材(L=1000mm以上)が入っていますか。	3		
	⑦給水配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3		
	⑧ふろ配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3		
	⑨ふろ配管途中に鳥居配管(1箇所)がある場合、高さは1.5m以内になっていますか。(湯張り誤動作の原因となります。)	3	○	
	⑩浴槽アダプターは当社純正別売部品を使用していますか。	3	○	
	⑪埋込部に塩ビ管を使用していませんか。	3		
	⑫排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか。	3	○	
	⑬絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか。	3		
	⑭ドレンホースを排水ホッパーに導いてありますか。	3	○	
	⑮保温工事は適切ですか。	4	○	
	⑯凍結防止工事は適切ですか。(凍結防止ヒーターの使用など)	4	○	
	⑰各水栓、減圧弁のストレーナーは点検しましたか。(ゴミが入っていると湯の出が悪くなります。)	3	○	
電気工事	①電線(ケーブル)の太さは適切ですか。	5	○	
	②タイムスイッチ、ブレーカーはついてますか。	5		
	③タイムスイッチ、ブレーカーの定格は十分ですか。	5	○	
	④電源は200Vですか。	5	○	
	⑤電源ケーブルと温水器の接続は、契約した制度(深夜電力、時間帯)に合わせて適切にされていますか。	5	○	
	⑥200Vターミナルの締付けは十分ですか。	5	○	
	⑦保護アース(接地)工事は確実ですか。	5	○	
	⑧ケーブル押え板は使っていますか。	5		
	⑨リモコンを温水器に接続しましたか。(接続をしないと置き上げを行いません。)	6	○	
その他	①湯水混合栓からの流量は十分ですか。	3		
	②温水器周辺や配管からの水漏れはないですか。(ふろ配管からの水漏れはありませんか。)	—	○	
	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき、排水があふれ出ることはないですか。	3		
	④試運転は異常なく完了しましたか。	8	○	
	⑤漏電遮断器は切りましたか。(物件など試運転確認完了後、すぐに入居しない場合など)	—	○	

9.試運転

試運転はお客さま立ち合いで行なってください。
試運転は湯はり完了するまで確実に行ってください。

注意
通電はタンクを満水にしてから行ってください。

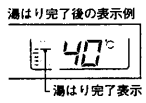
【お願い】深夜電力通電制御型で契約している場合は、電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通電状態にしてから試運転を行なってください。
【お願い】リモコンの操作は取扱説明書をご覧ください。



- タンクを満水にする
 - 湯水混合栓の湯温調節つまみを「高」側に給湯レバーを開き、水が出ることを確認してください。
 - 減圧弁のストレーナーのゴミづまりを点検してください。(右図)
 - 水が出ない、出が悪い場合は、温水器専用止水栓など各水栓のストレーナーを点検してください。
 - 200V電源ブレーカーを「入」にする(または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする)
- タンクに水が入っていないと、リモコンに「F7」が表示されます。タンクが満水になると表示が消えます。
- 漏電遮断器の電源レバーを「入」にして、動作を確認する
 - 漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。(ピークシフトを解除します。)
 - ヒーターへの過電を確認します。(電力計が回転し、台所リモコンに「過電中」が表示されます。)
 - 【お知らせ】時間帯別電灯料金制度で使用される場合、初日の置き上げは、昼間時間帯にも置き上げます。
- 台所リモコンで時刻設定を行う
- 台所リモコンで温水器の湯温設定を行う
- 湯はり動作を確認する(タンク内が水の場合でも、下記操作により確認できます。)

警告
漏電遮断器の動作を確認する
故障のまま使用すると、感電することがあります。

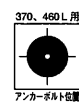
- 【お願い】浴槽を空にしてから、湯はりの動作を確認してください。
- 浴槽の容量を確認する
 - 湯はり湯量は200Lで初期設定されています。一般的な浴槽では、設定変更しないで試運転湯はりをを行います。
 - 【お知らせ】大きな浴槽で少ない設定湯量で試運転湯はりを行うと、「U3」エラーを表示して湯はりが行われないことがあります。この場合は設定湯量を多くしてください。
- 湯はりする
 - 浴槽を空にして、浴槽の排水栓を閉じてから、「ふろ自動」スイッチを押します。タンク内が水の場合でも水で湯はりを開始し、設定した湯量を湯はりますと湯はり完了表示(ー)が点灯します。
 - タンク内が湯の場合は、浴室リモコンのふろ湯温設定「▼(低)」スイッチを押しながら「ふろ自動」スイッチを押すことで、タンク内の湯を使用せず水で湯はりができます。
 - 【お願い】水栓から浴槽への湯はりほしないでください。
 - 【お知らせ】初回の湯はりでは、随時水位を検出するため湯はりが停止する時があります。このため初回の湯はり時間は長くなります。(目安:湯量200Lで浴槽が1階の場合は約25~30分、浴槽が2階の場合は約30~40分)また、湯はり途中で湯はりを止めたりすると、水位を誤検出し、翌日以降、湯はりが正常に行われない場合があります。必ず湯はりを完了させてください。
 - 【お知らせ】湯はり中に本体排水口から少量、排水されますが異常ではありません。
- 湯はり完了後、浴槽の湯量(水位)を確認し、お客さまご希望の湯はり湯量に設定する
 - お客さまご相談の上、ご希望の湯量(水位)になるようにふろ湯量設定「△(高)▼(低)」スイッチでふろ湯量を設定してください。(湯量20Lで浴槽水位は約3~5cm上下します。)
 - 【お願い】湯はりが異常の場合、浴槽を空にして本体制御基板のリセットスイッチを押し、湯はりをやり直してください。
- 湯張り終了後、配管及び各配管の接続部から水漏れが無い確認する
- 台所、浴室リモコンが取扱説明書の通りに操作できるかどうか確認する
 - お客さまご相談の上、ご希望の湯はり湯温になるようにふろ湯温設定「△(高)▼(低)」スイッチでふろ湯温を設定してください。
 - お客さまご相談の上、ご希望の給湯湯温になるように給湯湯温設定「△(高)▼(低)」スイッチで給湯湯温を設定してください。
- 試運転終了後、必ず浴槽の水を排水する
- 【お願い】深夜電力通電制御型で契約している場合は、試運転終了後、タイムスイッチの時間を現在時刻に戻してください。



湯はりが終ると、完了音「ピーピー」が鳴り、湯はり完了表示が点灯(湯はり中は点滅)します。

10.お客さまへの説明

- 取扱説明書に基づいて、正しい使い方をお客さまにご説明ください。
- とくに「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので必ず守るようご説明ください。
- 日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。
- 寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。



- 家庭用以外でご利用のお客さまには、同梱の「事業者さまへのご案内」を読んでいただくようお願いしてください。
- 長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なお客さまにご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。また、逃し弁、減圧弁、ヒーターパッキン、空気抜き弁などは消耗品であることを説明してください。
- 保証書、工事確認書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書などとともにお客さまにお渡しください。